

ホッとハート

熱い心と癒しの心

2010 春号
Spring

鹿児島徳洲会病院広報誌

特集

新入職員紹介

ハイチ災害活動報告
救急カンファレンス
日本 DMAT 隊員養成研修会
各種資格合格発表

地域の皆様により信頼される病院を目指して

鹿児島徳洲会病院 院長 飯田信也



当院は、昭和六十二年四月の開院以来、グループの理念である「生命だけは平等だ」の下、いつでも、どこでも誰にでも患者様中心の医療を展開してきました。

私も院長に就任し早いもので3年になります。

時間は追いかけても立ち止まらない、待っていても刻々と刻み続け次々に新しい未来が刻まれます。1分1秒を争う医療現場のなかで、鹿児島島の雄大な桜島は多くの自然が私たちを見守ってくれているかのように桜島を眺めると忙しい業務で疲れた心が癒されるのを感じます。

当院が開設時より二十四時間体制の「患者様を断らない医療」を徹底してきた事で、地元の方々から信頼を得ることが出来ているのを確認しています。

同時に「出て行く医療」を展開することにより在宅支援の充実、救急現場への出動、また地域の皆さんとの交流を深める為に各地域で開催される医療講演や病院際などを催し、様々な方面から積極的なアプローチ現在も続けています。さらに、病院の通知書と云われている「病院機能評価」取得そして「ISO9001」の取得をはじめ、今後益々患者様や地域の方々により良い医療サービスが出来るものと確信しております。



看護の心

鹿児島徳洲会病院看護部長 肥後輝子



通勤途中に見る光景、赤いランドセル背中に女の子二人笑いながら桜の木の下歩いている。この子たちの笑顔がいつまでもつづき、元気で成長していくことを願う。

当院もはやはやの出来立ての看護師さんを迎えました。入社式、緊張の表情が、日が経つにつれ笑顔が戻り、仲間作りが出来るようになった。



看護師に憧れて看護師になった人も少ないかもしれません。理由はそれぞれだと思います。でも、看護師の仕事についていた以上は看護の魅力を極めてほしいですね。看護師という仕事は自分のためにやっているのだけれども、人のためにもなる。それが嬉しいし、私たちはこんなふうにお患者さんに寄り添っているのだと、皆さんに理解してほしい。人と接する仕事って本当に素敵なことだと思います。つらいときは友達や仲間と愚痴ったり、趣味を生かしたりして、明日からまた元気に仕事に戻れる看護師さんになってほしいです。

医療の原点を忘れずに

鹿児島徳洲会病院事務部長 深川大功



少しずつ鹿児島らしい暖かくそして熱い季節が始まります。鹿児島徳洲会病院にも四月一日より三十六名の新人職員が仲間入りしました。

医師1名、看護師22名、薬剤師1名、臨床工学士1名、理学療法士4名、作業療法士2名、介護福祉士1名、事務員4名、当院の医療といわれる幅広い分野での充実をはかる為の貴重な仲間です。

今後、どこの医療機関も国の様々な改定により厳しい状況下になりつつあります。当病院も経費削減、日々の業務改善等を考えながら病院運営に欠かせない患者様中心の医療、そして「生命だけは平等だ」の理念と哲学を胸に医療技術・接遇教育を行い人間性の向上はかり、

さらに8時会・朝礼にて情報の共有意識の統一を計るため日々努力しています。医療の原点は地域の生命を守り、生活を守る、この原点を忘れずに各地域の病院・診療所・老人介護保健施設等との連携を積極的に取り組みながら、また地域への貢献として、病院勤務の優秀なアスリート(スポーツ)を通して未来ある子供達に夢と希望をあたえ、そしてこれからの可能性を少しでも引き出せるような育成、指導を行っていきたくと考えております。本年度も宜しくお願いたします。





看護師
大田 博嗣



看護師
鮫島 佑果



看護師
松 さやか



看護師
鍋倉 佐有理



臨床工学技師
七種 智謙



薬剤師
加納 重治



看護師
竹島 宏



准看護師
田浦 静香



理学療法士
吉岡 広樹



理学療法士
石垣 養乃



理学療法士
川 千絵子



理学療法士
操 強志



事務員
霧元 良和



事務員
宮本 紘希



作業療法士
関 圭樹



作業療法士
岩元 真彦



准看護師
山下 美紀



事務員
永岩 貞亮



事務員
森 洋介



介護福祉士
新川 千晴



事務員
川越 克己



医師
田口 周平



看護師
谷口 和子



看護師
田中 麻友美



看護師
浦 市子



栄養士
松元 めぐり



看護師
上久保 久美



看護師
池田 恵子



看護師
岩崎 ともみ



看護師
瀬筒 智代



准看護師
樋渡 拓也



看護師
野口 実可子



准看護師
二反田 知世



准看護師
直 由希乃



看護師
土山 由貴



看護師
迫 晴香



看護師
伊伏 菜穂



看護師
宮崎 麻紀

特集 新入職員紹介
2010年4月から新しく職員に加った
皆さんを紹介します

各種資格合格発表



呼吸療法支援チームが、臨床の中心となり活動を開始している所が多くあり当院でもその必要性が病棟各所で問われています。今後、当院でも多くの認定士が誕生し日本の呼吸療法の適正化、標準化が進み呼吸管理の充実に貢献していくことが今後の最大の目標です。

呼吸療法認定士 合格!!
 医学・医療の著しい進歩とともに新生児から高齢者までの重症患者管理の機会が増加の一途を辿っています。その根幹もなすものに呼吸療法があります。呼吸療法は病院内では人工呼吸器や非侵襲的換気療法の発達などが著しく、外来や在宅診療でも在宅酸素療法の普及などから、NPPV（非侵襲的換気療法）の在宅使用や在宅人工呼吸管理まで、その重要性は増すばかりです。今回取得した呼吸療法認定士の受験資格は、看護師、臨床工学技士、准看護師、理学療法士で、二定以上（2年間、准看護師のみ3年間）の実務経験がある人となっています。試験内容は呼吸生理や呼吸器の解剖から、肺機能検査、動脈血ガス分析、呼吸不全の病態と治療、人工呼吸管理、小児の呼吸管理、在宅医療まで様々です。この認定資格は国家資格ではありませんが、過去問が出版されていないことと学校と異なり各々が独学で参考資料を開かなければならないことから、決して安易な挑戦ではありませんでした。取得への大きな期待の反面、幅広い分野の課題から大きな不安がありました。周囲スタッフの助言・後押しもあり、何とか受験者全員合格という最高の結果を得られました。呼吸療法の発展に伴い、呼吸ケア専門家の充実がますます重要となり、呼吸療法認定士はその中核をなす存在と期待されています。また全国のあらゆる病院では RST (Respiratory support team) 呼吸療法支援チームが、臨床の中心となり活動を開始している所が多くあり当院でもその必要性が病棟各所で問われています。今後、当院でも多くの認定士が誕生し日本の呼吸療法の適正化、標準化が進み呼吸管理の充実に貢献していくことが今後の最大の目標です。



超音波検査士 合格!!
 当院、内野智美さんは見事！！超音波検査士に合格しました。検査には血液検査、尿検査、心電図検査、超音波検査を行っており、当院でも幅広い検査領域において各分野それぞれ臨床検査技師が対応しています。より専門的知識と技術を持ったエキスパートを育成するために各種認定資格が存在し、その中の一として超音波検査士があります。日本超音波医学会が認定する資格制度であり、進歩する超音波技術を活用し検査技術を磨き、医療に貢献していく技術を育むことを目標においたものです。また各専門領域があり、循環器・消化器・体臓器・泌尿器・産婦人科・健診の6領域に分かれています。受験資格は、臨床検査技師・看護師・放射線技師のいずれかの資格を持ち、なおかつ日本超音波医学会または日本超音波検査学会に3年以上所属したものと及び実務経験者です。当院では循環器（心臓エコー）4名、消化器（腹部エコー）4名、体臓器1名と超音波検査業務に携わる技師は皆いずれかの分野の資格を取得しており所持率100%です。「超音波検査業務に携わって4年目。ようやく私も受験資格を得ることができ、この2月7日に大阪で行われた試験を受験してきました。」
 「そしてこの度、先輩方のアドバイスや時間を見つけては勉強してきた結果、無事合格し循環器領域の資格を取得することができました。」
 「資格を得た今、超音波検査のエキスパートへの一歩を踏み出した喜びと患者様の為により一層技術を身に付けていきたいという思いです。」
 「今後もさらに質の高い検査を提供するために、知識と技術の向上が図れるよう努めていきたいと思っております。」



介護福祉士合格 合格!!
 「やったー!!合格」と声高らかに、田中涼子さん(写真中央右)は当院、訪問介護職員、平成22年1月31日第22回介護福祉士国家試験を受け、平成23年3月31日、見事合格。試験科目は、社会福祉概論や形態別介護技術など13科目もあり、仕事をしながら試験へ向けての勉強は大変だったことでしょうか。お見事!! 本人から、「これまで以上に知識・技術を生かし、介護の現場で、利用者様のニーズに合わせて心を込めて接している様に当院、訪問介護センター1美人スタッフ一同、さらに努力していきます」と意気込みを語っていただきました。
 ●訪問介護センター
 TEL 099-285-4959
 お気軽にお問い合わせ下さい。



当院は、1995年の阪神・淡路大地震、新潟中越沖地震、インドネシア・スマトラ地震、2006年高速船トッピー事故など災害活動の出勤経験のある施設です。今回、平成17年3月の厚生労働省が実施している「日本DMAT隊員養成研修会」に参加出来る事となり病院長の飯田信也、ICU看護師の中村幸司、富奥慎二、臨床高格技師の竹田達也、メデイカルソーシャルワーカーの吉山健志の5名で受講しました。研修では災害医療だけでなく、消防組織、防衛省、海上保安庁などの機関の組織体制、インターネットでの災害情報収集・情報入力など35項目以上にもなる内容を座学、実技、シミュレーションなどをまじえて行われました。また、実技、筆記試験もありましたが5名とも合格することができました。DMATが従来の医療救護班と違う点は、都道府県との協定に基づく活動にあります。標準的な教育を受けた個人が登録されている、複数のDMATの連携、組織的活動が可能、関係機関と連携ができる、安全に関して適切に管理できる、という点です。災害は起こって欲しくない現象ですが、発災してからは遅いので、平時からのトレーニングや日頃の準備が必要です。この研修を通して様々な課題も見えてきたので病院全体の取り組みとして、様々な火災に対応できる組織づくりをしながら、地域貢献できるようにしていきたいと考えています。



救急カンファレンス

日本DMAT隊員養成研修会

ICU 富奥 慎二



運動部 活動報告

多方面で活躍する運動部の皆さんの活動報告です。

●陸上部 九州大会 ダブル優勝!!



勝そして円盤投げに出場した市来選手は11連覇を達成しました。二人とも記録的には満足しておらず、「今後の課題が試合を通して見つけたので更に高いレベルでの結果を出せるように一日二日努力していく」と力強く語っていました。

応援してくださった皆様本当にありがとうございます。

また、次回大会でも良い結果を報告できるように頑張ります。

●空手部 田代選手 西日本団体3位



栄養課の田代優介選手は、西日本実業団空手道選手権大会にて見事団体3位の成績を収めた。第30回記念大会ということもあり空手の発祥の地、大阪の尼崎市での開催、沖縄県から愛知県まで総勢80チーム、団体は40チームの中、会場の雰囲気は終始ピリピリの選手も気合十分で会場のいたるところで選手の気迫の掛け声が会場に響いていた。

そんな中で堂々3位そして今大会ベスト4ですが、今年11月に開催される全日本総合選手権大会の出場権を獲得、是非みなさん空手部、田代優介選手の今後の活躍と応援宜しくお願いします。

5月15・16日に北九州市で開催された九州実業団陸上大会において鹿児島徳洲会病院陸上部(市来、吉津)が出場し見事二人とも優勝しました。

ハンマー投げに出場した今年二年目の吉津選手は、今大会初優勝



ハイチ災害活動に参加して



鹿児島徳洲会病院 ICU 中村幸司



今回、ハイチの海外災害活動に第一陣で参加した。海外での災害活動は今回2回目、以前はジョグジャカルタでの地震災害に第2陣で参加した。前回ジョグジャカルタでの主たる目的は、診療・診察の介助、被災状況の視察が目的だったが、今回は第1陣ということで、被災状況の確認と共に安全な居住空間の確保、診療場所の確保と前回のジョグジャカルタでの2陣とは違う目的があった。その中で、私の目標としては、前回の経験を生かし、隊員間でのコミュニケーションを早期に回り、現場での業務を円滑に進めるという事を目標に掲げ、参加する事にした。

実際参加し、現場で活動をしていく中で、ハードな移動、診療場所の変更など、日々目まぐるしく状況が変化していく中で、自分自身も、他の隊員も自分の事で精一杯となり、隊員同士での会話はほとんどなく、誰が、何をするのか分からないまま時間だけが過ぎていく感じであった。その様な時、ハイチ視察後の夜のミーティング時に、「きみら、基本を忘れてないか。CSCATTTのSやぞ。Sの意味をもう一度考え直せ。Sは安全の意味、その安全は自分自身の安全もあるが、隊員全体の安全の意味もあるんやぞ。危険な思いをして帰って来たのに、お帰りや

お疲れさんの言葉もなくどうゆうことや。」という言葉があった。この言葉に目が覚めた。普段なら、当たり前前にコミュニケーションのひとつとしてできている声かけなどの行動が出来ていなかったことに気付かされた。しんどく、疲れているのは自分だけじゃない。隊員みんな疲れているんだ。それなのに気付かないうちに、自分だけを特別扱いしていた。そして、以前の経験を今回の実践に役立てられると安易に考えていた自分もいた。とても、恥ずかしく、悔しかった。その時から最初に自分の掲げた目標を遂行するために、隊員同士で会話を積極的にに行った。物品管理、移動時や次の行動での作業分担などの他の隊員と会話をすることで、お互いにコミュニケーションが図れ、作業時にも笑顔が見られ、作業がスムーズに行われていった。

普段ならコミュニケーションに時間をかけ人間関係を構築していくことが出来るが、初対面同士でのチームで災害現場のような非日常的な生活を送る中で、災害現場活動への使命感だけではなく、短期間にコミュニケーションを図り、業務を遂行していくという共通意識を持たなければ、チームとして活動が円滑に進まないと考える。だから、何かをするではなく、自分が何かをする積極性をもっと早く出す必要があると感じた。

また、活動を通じて、業務改善として感じたことは、物品の管理、物品のセッティングについては、出国前に物品名を記入してもらうか、担当者を出国時にも指名していれば、不足物品の早期の確認ができたのではと思う。また、物品のセッティングは、荷物制限があるので難しいと思うが、少しでもセッティングできればよいと思う。役割分担に関しては、看護師、栄養士や薬剤師など診療の介助、隊員の栄養管理、薬品の管理など明確な役割がある一方、本部、スタッフ間の報告、連絡の調整などの役割分担がもう少し明確になっていればよかったのではと考える。

また、実際の活動内容としては、被災地での状況より、下肢の骨折、挫滅創の患者が多く、ギプス固定、創処置が主な内容だった。その中で、当直をした夜間帯に2件の手術の介助に動くことがあった。開腹と創部の創洗浄の手術で、日本では全身麻酔で挿管してというのが普通だが、麻酔器は故障し使用できる状況ではなく、挿管ができず、鎮静剤投与のみでの開腹手術となった。患者はお腹を切られる度に声をあげ、足を動かす、その度に鎮静剤を早送りし対処していた。しかしその為、鎮静剤の効果が強くなり、患者は呼吸状態が悪化し、徒手にて気道確保しながら呼吸管理をした。日本なら機械で数値として呼吸回数、呼吸様式など、改めて注意深く自分の目で観察をしなければならず、フィジカルアセスメントの重要性を感じた。

先日の災害医療と看護の講義の中で、「被災地という環境に被災者とともに存在し、できるだけ多くの被災者に関心と気遣いを示し、手を差し伸べること。」という言葉があった。振り返れば、第一陣という事で前回のジョグジャカルタでの活動と目的も違い、またアジア圏でないこともあり、今一歩、被災者の内面に踏み込んだ看護が出来なかった思いがしていた。しかし、講義の言葉より、被災者と同じ場所で寝食を共にし、笑顔で接しいる様な形でタッチングしたこともひとつの看護であったと考える。

今回もすばらしい体験をさせてもらいありがとうございます。

当病院の診療体制・診療科目

先生の学会出席や緊急手術のために、時間が変更になる場合があります。
最新の予定は、<http://www.kagotoku.jp/Schedule.htm> をご覧ください。

TEL 099-250-1110 FAX 099-251-2237

曜日	月		火		水		木		金		土	
	時	間	9~12時	17~20時	9~12時	17~20時	9~12時	17~20時	9~12時	17~20時	9~12時	17~20時
総合診療科	1 診	丸山	緒方	大塚	丸山	二宮	二宮		北園		大塚	当番
	2 診	中野		二宮		丸山		丸山		大塚		当番
	3 診	緒方		緒方		緒方		緒方		緒方		
	4 診	飯田		飯田		飯田		飯田		飯田		飯田
	6 診	明瀬		明瀬						明瀬		
	循環器科	北園		北園				北園		北園		北園
	消化器科	大塚		荒深		中村		荒深		中村		二宮
糖尿病科	緒方		緒方		緒方		緒方		緒方			
外科	中村	当番	脇山	当番	中村	中村	中村・脇山	当番	中村	当番	脇山	当番
外科 (消化器・乳腺・肝胆臓)							荒深					
心臓血管外科					澤谷				澤谷			
形成外科	崎戸				崎戸				崎戸			
脳神経外科	北川		北川				北川					
泌尿器科			北島		北島		北島					
小児科	後山	後山 (14~20時)	後山	後山 (14~17時)	後山		後山	後山 (14~20時)	後山	後山 (14~17時)	後山	
眼科						本田 (14~17時30分)						
放射線科	新野 (9~13時)	新野 (13~17時)	新野	新野 (13~17時)	新野	新野 (13~17時)	新野	新野 (13~17時)	新野	新野 (13~17時)	新野	新野

■ 特定健康診査

● 必須項目

質問表・身体測定・理学的検査・血液検査・検尿

● 詳細な健診の項目

心電図・眼底検査・貧血検査

※但し、当検査は一定の基準のもと、医師が必要と認めた場合に実施します。

医師によるメタボリックシンドロームの判定

該当者のみ

保険者から保健指導用の受診券が送付される



■ 特定保健指導

判定のリスクに応じて、それぞれのレベルの特定保健指導

動機付け支援レベル (生活習慣改善の動機付け支援を行う)
初回面接 ⇒ 6ヵ月後の評価

積極的支援レベル (3~6ヵ月かけて生活習慣の改善を行う)
初回面接 ⇒ 継続的な支援 ⇒ 6ヵ月後の評価

※具体的には、栄養指導、運動指導を計画し支援します。 お問い合わせ・・・健康管理室 特定健診係 TEL 099-250-1110

特定健康診査 特定保健指導

ご案内

当院では
平日の**8時半~11時まで**
予約制で特定健診を受け付けています。
健康保険証と健診受診券をお持ちください。
個人負担金は受診券に記載されているとおりです。
また、近日特定保健指導の受付も開始します。



ヒヨコチーム
担当/片山佐知子先生



♥好きな食べ物
ごはんです。おにぎり最高
★さっこ先生と呼んでください。

コアラチーム
担当/竹ノ内正美先生



♥好きな食べ物
デコボンはです。みかん大好き!!
★まさみ先生と呼んでください。

ライオンチーム
担当/瀬戸山澄子先生



♥好きな食べ物
和食(豚しゃぶ)パイナップル大好き!!
★すみこ先生と呼んでください。

サポートスタッフ
青野正子先生



♥好きな食べ物
サワーポメロにはまっています!!
★まさこ先生と呼んでください。

サポートスタッフ
廣本由梨先生



♥好きな食べ物
モツ鍋です。安くておいしい!!
★ゆり先生と呼んでください。

保育主任
小櫻栄子先生



♥好きな食べ物
堅あげポテトブラックベツパー味。やめられません!!
★えいこ先生又は、えいこママこと呼んでください。

病院から徒歩5分。より安心して働ける職場環境をめざして、
夜間保育、日・祭日の保育預かりがあります。

トピックス... Topics

今回は鹿児島徳洲会病院
「たんぼ保育園」のご紹介です

鹿児島健康友の会に入会しませんか

鹿児島健康友の会は会員相互の親睦・生きがいのある人生を送ることを目的とした会です。

会員の特典いろいろ

- 1、各種スポーツ大会や遠足、レクリエーション、各種クラブ活動などへ優先でご案内します。
- 2、医療・年金相談・医療講演・福祉講演・健康相談の開催を優先でご案内します。
- 3、入院による個室の割引をいたします。
- 4、人間ドックの割引サービスがあります。
- 5、予防接種の各種割引を実施しています。

健康友の会の会費

年会費 1,000円 (1世帯)

申込みは 事務局(鹿児島徳洲会病院内) 鹿児島健康友の会へ

私のおすすめ

ゆうまのお手軽トレーニング講座

第1回

地域医療課 市来優馬

皆さんこんにちは、私はかなりのベテランの域で陸上部の円盤投げをしています、地域医療課所属の市来優馬とは私の事です。

今回から数回に分けて家でも出来るお手軽トレーニング方法を紹介します。

女性の皆様、下腹気になりませんか？ 簡単にはっこりお腹を引き締める方法があるんですよ。まず、真っ直ぐ立って膝を腰の位置まで上げます。ココでポイント！太ももは地面と水平にする事そして上げてから1秒ぐらい止めましょうそれを両足交互に行ってください。しかも時間は一日1分〜2分です。このトレーニングは、お腹の下の筋肉、腸腰筋(ちようようきん)を刺激します。歩いたり走ったりするとき使用する部分です。

そして最も大切なことは、このトレーニングを長く続けることです。1日2日

では効果はありません。毎日コツコツやるのがスッキリお腹への第一歩です。どうぞ試してみてくださいね!!
ちなみに写真のようにやりすぎないでくださいね、怪我しちゃいますよ(笑)。



鹿児島徳洲会病院への交通アクセス



バスをご利用の際は下の番線を参考にしてください。

- 荒田八幡バス停より徒歩3分
 - 市営バス ⑭ ⑮ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒
 - 鹿児島交通 ① ② ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑬ ⑯ ㉓ ㉔
- 下荒田四丁目バス停より徒歩1分
 - 市営バス ㉕
- 与次郎ヶ浜バス停より徒歩3分
 - 市営バス ⑫ ㉖ ㉗

